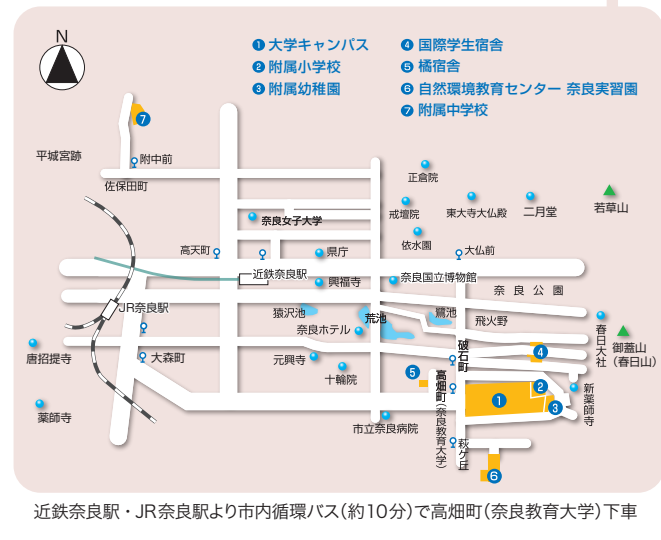
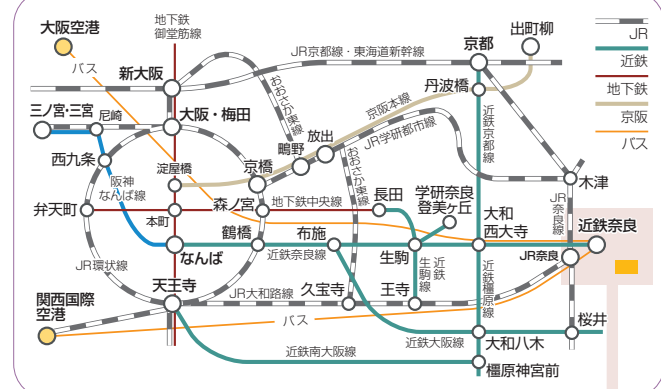


奈良教育大学アクセスマップ

主要駅から奈良までの所要時間

大阪……………約50分 京都……………約45分
 なんば……………約35分 三宮……………約80分



このリーフレットは概略版です。詳細な数値や情報につきましては、大学概要 2019 (URL: <https://www.nara-edu.ac.jp/guide/bulletin/>)や
 本学ホームページ(URL: <https://www.nara-edu.ac.jp/>)をご覧ください。

特に記載のない限り、掲載データは令和元年5月1日現在

編集・発行 / 国立大学法人奈良教育大学
 〒630-8528 奈良市高畑町 TEL 0742-27-9104
 E-mail kikaku-kouhou@nara-edu.ac.jp
 奈良教育大学ホームページ <https://www.nara-edu.ac.jp/>

建物配置図 教育学部・附属小学校・附属幼稚園



建物情報 奈良教育大学・附属小学校・附属幼稚園

- R1 理科1号棟 Research Building (Science 1)
- R2 理科2号棟 Research Building (Science 2)
- R3 技術棟 Research Building (Technology)
- R4 新館1号棟 Research Building (PE)
- R5 新館2号棟 Research Building (Mathematics & Pedagogy)
- R6 新館3号棟 Research Building (Japanese)
- R7 音楽棟(B) Research Building (Music)
- R8 音楽棟(A) Research Building (Music)
- R9 美技棟 Research Building (Arts & Tech.)
- R10 美術・書道実習棟 Research & Practice Building (Arts & Calligraphy)
- R11 文科棟 Research Building (Humanities)
- R12 次世代教員養成センター1号館(奈良教育大学連携推進型) Teacher Education Center for the Future Generation 1
- R13 次世代教員養成センター2号館 Teacher Education Center for the Future Generation 2
- R14 情報館 Information Processing Facilities
- R15 教育資料館 Museum for Historical Materials of Education
- R16 講堂 Auditorium
- R17 武道場 Arts Gymnasium for Martial
- R18 体育館 Gymnasium
- L1 講義1号棟 Lecture Building 1
- L2 講義2号棟 Lecture Building 2
- L3 講義3号棟 Lecture Building 3
- L4 講義4号棟 Lecture Building 4

設備情報

- エレベーター
- 多目的トイレ
- 食堂・売店
- AED
- バス停留所
- 駐車場
- 案内
- 階段昇降機
- 車いすで出入り可能な入り口
- 車いすで出入り難しい入り口
- スロープ
- 階段
- 3cm以上の段差
- 悪路(砂利道など)
- 勾配の大きい坂道
- 建物
- 建物(ピロティ部分)
- 植栽
- 池・プール
- グラウンド・コート
- 車いすで通行可能な門
- 車いすで通行不可能な門

国際交流

国際交流協定締結校



海外派遣留学生(平成30年度出国)

派遣先大学	人数
ロックヘイブン大学(アメリカ)	2
セントラルミシガン大学(アメリカ)	2
計	4

外国人留学生

区分	国籍	韓国	中国	ドイツ	フランス	イタリア	ブルガリア	ルーマニア	アメリカ	コスタリカ	インド	計
国際留学生	研究留学生											1
	教員研修留学生	1										1
	日本語・日本文化研修留学生		2		1			2		1	1	7
	学部学生	1	2									3
	大学院学生		20									20
	学部研究生		8									8
	大学院研究生											0
	特別聴講学生	1	6	1	1	1		1	1			12
計		3	38	1	2	1	1	3	1	1	1	52

地域連携

ならやまオープンセミナー

地域や市民の皆様を対象とした公開講座、セミナー、シンポジウムなどを開催しています。
 詳細は <https://www.nara-edu.ac.jp/graduate/courseindex/> をご覧ください。

令和元年度公開講座

講座名	対象
教職員のための公開講座	現職教員
-フリードリッヒ・ディッカー先生が「絵の教室」を通してもたらしたもの- -テレビジョン放送所の子どもたち	学校教員関係者・臨床心理士・公認心理師(スクールカウンセラー等)・福祉関係の方・学生一般・ESDに関心のある方など
ピアノを弾こう!	一般の方

(他、最新情報はホームページに掲載)

フレンドシップ事業

教員の養成段階において、本学学生が様々な体験活動を通して子どもたちとふれあい、子どもたちの気持ちや行動を理解し、実践的指導力の基礎を身につけることを目的に、様々な事業を実施しています。
 詳細は <https://www.nara-edu.ac.jp/general/friendship%2023index.html> をご覧ください。

令和元年度実施事業

事業名	対象
書道を楽しもう	高校生60名
飛行コンテスト	小学生(4~6年生) 25名
わくわくアートプロジェクト	曾爾村立曾爾小学校児童
キッズ・サウンドラボ・アートプロジェクト	小学生(中学年~高学年) 30名

オープン・クラス

大学を生涯学習の場として活用するという社会的要請に応えるほか、地域社会と大学との連携を深めることを目的に、大学の一部授業を学生と共に受講いただけるようにしています。
 詳細は https://www.nara-edu.ac.jp/graduate/open_class/ をご覧ください。

学校図書館司書教諭講習(文部科学省委託事業)

学校図書館司書教諭資格のために必要な「学校経営と学校図書館」、「情報メディアの活用」、「読書と豊かな人間性」、「学習指導と学校図書館」、「学校図書館メディアの構成」の講習を開講しています。
 詳細は <https://www.nara-edu.ac.jp/students/books.html> をご覧ください。

教員免許状更新講習

奈良県内の大学・短期大学・その他の機関と連携して、教員のニーズに応じた多様な講習を実施しています。

教育職員免許状認定講習(文部科学省委託事業)

特別支援学校並びに小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校の教員を対象に、特別支援学校の教育職員免許状を取得するために必要な講習を開講しています。

施設利用

講堂、講義室や体育施設などを、地域や市民の催しなどでご利用いただけます。(ただし、本学行事・授業・課外活動などの関係上、ご希望に添えない場合があります。)
 詳細は https://www.nara-edu.ac.jp/general/facility_utilization.html をご覧ください。

教育研究に係る連携協定

教育や研究、学生ボランティアの派遣などについて、奈良県内外の教育委員会や各機関と連携協定を締結しています。

協定先	主な目的等
奈良県	「地域の教育力」を再生する方策に関する調査・研究
奈良県くらし創造部	「地域の教育力」モデル地域調査事業
奈良県教育委員会	実践総合センターと県立教育研究所との、いじめ、不登校問題等教育課題への取組に係る連携 教育連携に係る包括協定 県立育相高校との実践的共同研究と県理科教育の充実、科学者、技術者の養成
奈良県立平城高等学校	教育連携協定
奈良県立高田高等学校	教育連携協定
奈良県立山辺高等学校	理数プロジェクト-高大地域連携事業に関する協定
奈良県立青柳中学校・高等学校	理数プロジェクト-中高地域連携事業に関する協定
京都大原学院(小中一貫校)	教育連携協定
奈良市	教育連携に係る包括協定 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 幼稚園、小学校、中学校への学校教育活動支援事業(スクールサポート)と相互の教育支援・充実 「先導型プロジェクト」推進事業 包括協定事項追加(教員養成GP「健」の場面)
奈良市教育委員会	学科指導教室「ASU」への学生(学習チャーター)派遣と相互の教育支援・拡充 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教育連携に係る包括協定
大和郡山市	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教育連携に係る包括協定
天理市	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
生駒市	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
曾爾村	教育連携に係る包括協定
平群町	包括連携協力に関する協定
山添村	包括連携協力に関する協定
奈良工業高等専門学校	教育研究等の協力協定
奈良女子大学	教員養成の高度化に関する連携協定
帝京大学	教員養成の高度化に関する連携協定
天理大学	教員養成の高度化に関する連携協定
奈良大学	教員養成の高度化に関する連携協定
大和大学	教員養成の高度化に関する連携協定
奈良学園大学	教員養成の高度化に関する連携協定
京都府教育委員会	小中学校への学生派遣による支援、学生の資質向上と実践的指導力の育成 教員を目指す学生等の資質向上と実践的指導力の育成
京都市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 連携協力に関する協定
陸前高田市教育委員会	連携協力に関する協定
茨木市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
八尾市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 八尾市教育委員会と奈良教育大学の連携協力に関する協定
柏原市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
千早赤阪村教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
堺市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
羽曳野市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
東大阪市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
交野市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
神戸市教育委員会	「スクールサポーター制度」実施に係る協定
高エネルギー加速器研究機構	教育研究等の協力協定
教員研修センター	連携・協力に関する協定
五條市	五條市と奈良教育大学との包括連携協力に関する協定
奈良県・和歌山県教育委員会	奈良教育大学、奈良県・和歌山県教育委員会及び奈良県教育委員会の連携協力に関する協定

単位互換に係る連携協定

協定先	協定締結年月日	主な目的等
放送大学	平成14年3月13日	学部単位互換
帝塚山大学、天理大学、奈良大学 奈良県立大学、奈良県立医科大学 奈良学園大学、奈良女子大学	平成20年3月10日	奈良県内大学間での学部単位互換
京都教育大学、大阪教育大学	平成25年3月21日	京阪奈三教育大学学部単位互換
奈良女子大学	平成7年12月25日	大学院単位互換
滋賀大学、京都教育大学 大阪教育大学、和歌山大学	平成8年1月30日	大学院単位互換

広報誌「ならやま」

本学の教育実践、研究内容、学生の活動状況等を受験生やその保護者等に紹介するための広報誌を発行しています。



機能強化経費(機能強化促進分)の状況

文部科学省は、第3期中期目標期間(平成28~33年度)において、国立大学の機能強化の方向性に応じた3つの枠組み(本学は「①地域貢献」を選択)により重点支援を行うこととされました。

区分	事業名称	事業開始年度	事業(計画)期間
プロジェクト	教育委員会・学校・地域との組織的連携・協働により、教員養成・研修機能を強化する。	平成28年度	6年
プロジェクト	現代的教育課題に対応するプロジェクトを組織し、その研究成果を発信・展開する。	平成28年度	6年
プロジェクト	ESD(持続可能な開発のための教育)を核とした教員養成・研修の高度化 -次世代の教員に求められる資質・能力の向上を目的に-【基幹経費化】 理数教育再創生のための教員養成および研修機能の拡充【基幹経費化】	(6年)※	(6年)※
プロジェクト	学校教育体系全体を視野に入れたインクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮・ユニバーサルデザイン教育の開発	(6年)※	(6年)※

※()内は、取組予定期間

附属学校部

本学における児童、生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究、並びに教育実習計画に従い学生の教育実習を実施するため、附属小学校、附属中学校及び附属幼稚園を設置しています。

総定員	学級数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
附属中学校	432	12	130	132	150			412
特別支援学級	24	3	6	6	6			18
附属小学校	540	18	89	88	87	87	81	519
特別支援学級	24	3	4		4		5	13

総定員	年齢	学級数	3歳児	4歳児	5歳児	計
附属幼稚園	120	3歳児	1	26		115
		4歳児	2		47	
		5歳児	2		42	

奈良の地で
学び創造、
学び発信。

奈良教育大学
2019年 大学概要

なつきょん
LINE スタンプ
好評販売中!

奈良教育大学基金へのご寄付のお願い

ユネスコ・スクール加盟校
 本学は、ユネスコが推進している理念を学校現場で実践することを目的として「ユネスコ・スクール」に、平成19年、日本の大学として初めて加盟しました。



目的

奈良教育大学は、学芸の理論とその応用とを教授研究し、高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としています。

基本的な目標

奈良教育大学は、創立以来の学問・学芸を尊ぶ学風を継承し、学芸の理論とその応用とを教授・研究することにより、豊かな人間性と高い教養を備えた人材、特に有能な教員を養成して、我が国の教育の発展・向上に寄与することを社会的使命とします。第3中期目標期間においては、ミッションの再定義を踏まえ、地域の義務教育諸学校の教員養成機能に関して中心的役割を果たします。さらに、「学ぶ喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成を志向するユネスコスクールとしての実績を発展させ、持続可能な開発のための教育の推進拠点としてその理念に立った研究と実践を進めることにより地域の教育の発展・向上に寄与します。

特色（奈良教育大学の3つの柱）

1. 人・環境・文化遺産との対話を通じた教育の追究

本学は、古都・奈良の中心に位置し、豊かな自然や世界遺産を含む多くの伝統文化遺産に囲まれています。また、奈良国立博物館・奈良文化財研究所との連携によって、奈良で学ぶ喜びを実感しながら、感性を磨くことができます。このような恵まれた環境の中、全学生数が約1000名という特長を生かし、アクティブ・ラーニングを重視した対話型の授業や、研究室ゼミでの丁寧な指導により、学問・芸術・スポーツ等を深く追究します。人と対話し、環境や世界遺産と対話することを通して、確かな学力を基礎とするコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力など、教員として必要な資質・能力を着実に身に付けることができます。

2. 持続可能な社会づくりに貢献できる教員の養成

本学は、附属学校園とともにユネスコスクールに認定されています。また、「持続可能な開発のための教育」(ESD: Education for Sustainable Development)の推進拠点として研究を重ねています。これらの学校教育は、すべての校種・教科等において、「持続可能な社会づくりの担い手」を育成することが求められます。本学では、環境、文化、平和、人権等、ESDの対象となる様々な課題に対応できるカリキュラムを用意し、教員を目指す全学生がESDについての知識、指導方法を身に付けることができるよう取り組んでいます。このような教育を通して、「持続可能な開発目標」(SDGs: Sustainable Development Goals)の実現を目指す大学として、地域や社会へ貢献しています。

3. 教員養成と教員研修の融合

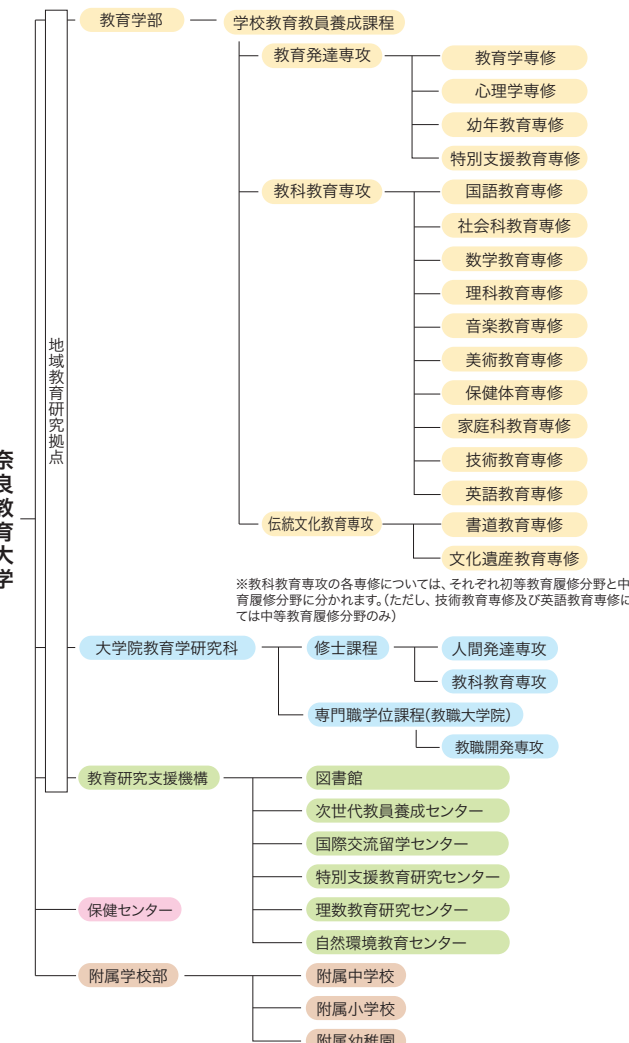
本学は、「教員養成」と「現職教員研修」を大きな責務としています。教員養成では、実習を含む大学の授業やスクールサポートなどの自主的体験活動が中心となります。教員研修では、本学教員が現職教員へ最新の知見を提供し、アドバイスを行っています。さらに、本学学生が現職教員研修に参加することや、本学教員が地域の学校や子供との関わりから得た知見を大学の授業に提供することを通して、「教員養成」と「教員研修」の融合を図っています。この取組は全国的にも高く評価され、大学在学時から教員就職後まで、一貫した実践的指導力と研究実行能力の育成を行っています。



歴史

明治 7(1874)年	教育伝習所として興福寺内に「寧楽書院」創設
明治 8(1875)年	奈良(小学)師範学校と改称
明治 21(1888)年	奈良県尋常師範学校創設
昭和 24(1949)年	国立学校設置法の公布により奈良学芸大学設置
昭和 41(1966)年	奈良教育大学と改称
昭和 58(1983)年	大学院教育学研究科修士課程設置
平成 16(2004)年	国立大学法人法の公布により国立大学法人奈良教育大学設置
平成 20(2008)年	大学院教育学研究科専門職学位課程(教職大学院)設置 創立 120 周年(奈良県尋常師範学校創設より)
平成 24(2012)年	教育学部改組(入学定員 255 名すべてを学校教育教員養成課程で募集、総合教育課程の募集停止)
平成 26(2014)年	大学附属センターを再編
平成 28(2016)年	大学院教育学研究科を改組(特別支援教育特別専攻科を廃止)
平成 29(2017)年	地域教育研究拠点を設置・教員組織の一元化
平成 30(2018)年	国立大学法人奈良女子大学と連携協議に関する合意書を調印

教育研究組織機構図



※教科教育専攻の各専修については、それぞれ初等教育履修分野と中等教育履修分野に分かれます。(ただし、技術教育専修及び英語教育専修については中等教育履修分野のみ)

教育学部紹介

学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校といった学校種について学びとともに、それらの枠をこえ、幼児・児童・生徒の発達を軸にした実践力豊かな教員を養成する課程です。主として「義務教育を幅広く見渡すことのできる力量」「異校種に柔軟に対応できる教育的力量」「授業・教育指導のための実践的力量」「特別な支援を必要とする子どもに対する臨床的力量」「現代的課題への積極的な対応力」の形成をめざしています。

大学院紹介

教育学研究科(修士課程・専門職学位課程(教職大学院))

教育学研究科は、学校教育に関する学問の体系及びその応用としての教育実践、教育臨床の高度化と多様化に応えるため、教育研究の学問的基礎力と現代的な教育課題への対応力を備え、専門的な能力と優れた資質を有する高度専門職業人としての教員・教育者を養成します。また、現職教員に対する教育や研修の一層の充実をめざしています。

取得可能な教員免許状・資格

学校教育教員養成課程

- 幼稚園教諭一種
- 小学校教諭一種
- 中学校教諭一種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
- 高等学校教諭一種(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、工業、家庭、英語、情報、書道)
- 特別支援学校教諭一種(「知的障害者に関する教育の領域」「肢体不自由者に関する教育の領域」「病弱者に関する教育の領域」)
- 養護教諭一種

大学院(修士課程、専門職学位課程)

取得しようとする専修免許状にかかる一種免許状を有する場合、必要な単位を修得すれば所属専攻・専修に応じた専修免許状の取得が可能です。

取得可能な資格

- 社会教育主事
- 学校図書館司書教諭
- 保育士(教育発達専攻 幼年教育専修の学生に限る)
- 学芸員
- スポーツ指導者
- 認定心理士(教育発達専攻 心理学専修の学生に限る)
- 教育支援人材
教育支援人材(こどもパートナー・こどもサポーター(学校活動支援)・こどもサポーター(バブル・シュレ)、こどもサポーター(ESD)・こどもサポーター(ICT活用))
- 学校心理士申請のための基礎資格(大学院修士課程 教育・心理専修※の学生に限る)

※平成27年度以前入学者は「教育心理学専修」。



学生数

	収容定員	男	女	計
学校教育教員養成課程	1,020	459	652 (3)	1,111 (3)
修士課程	90	30 (7)<5>	31 (14)<5>	61 (21)<10>
専門職学位課程(教職大学院)	50	33 <10>	11 <5>	44 <15>
大学院計	140	63 (7)<15>	42 (14)<10>	105 (21)<25>

()内は外国人留学生数を外数で示す。< >内は現職教員数を内数で示す。

教職員数

学長・理事	大学教員	附属学校園教員	事務職員
3	92	68	64

非常勤教職員は除く。

平成31年度入学状況

教育学部

専	修	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
学校教育教員養成課程	教育学専修	15	69(11)	16	16
	心理学専修	15	86(5)	16(1)	14(1)
	幼年教育専修	13	82(2)	15	15
	特別支援教育専修	12	91	14	14
	国語教育専修	25	128	29	26
	社会科教育専修	25	107	27	27
	数学教育専修	26	123	30	28
	理科教育専修	29	165	29	28
	音楽教育専修	18	75	19	19
	美術教育専修	11	33	11	11
	保健体育専修	19	104	22	20
	家庭科教育専修	9	83	11	11
	技術教育専修	4	13	5	5
	英語教育専修	12	65	13	13
伝統文化教育専攻	書道教育専修	15	94	18	17
	文化遺産教育専修	7	47	8	7
	計	255	1,365(8)	283(11)	271(1)

()内は外国人留学生数を外数で示す。()内は帰国生徒特別入試を外数で示す。

大学院

専	攻	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
修士課程	人間発達専攻	9	7 (6)	5 (1)	5 (1)
	教科教育専攻	36	30 (8)(5)	22 (7)(5)	20 (7)(5)
専門職学位課程(教職大学院)	教職開発専攻	25	28(6)	23(6)	21(6)
	計	70	65 (14)(11)	50 (8)(11)	46 (8)(11)

()内は外国人留学生数を外数で示す。< >内は現職教員数を内数で示す。

学生支援・学生の取組

奨学金

人物・学業ともに優秀で、かつ経済的に修学が困難と認められる学生を対象に、学費援助の一環として奨学金制度があります。

奨学生

		学部	大学院	計
日本学生 支援機構	無利子(第1種)	229	14	243
	有利子(第2種)	133	5	138
	その他	7	0	7
計		369	19	388

入学科及び授業料の減免

経済的理由によって入学科、授業料の納付が困難で、かつ学業成績優秀と認められる者を対象として、入学科、授業料を免除及び徴収猶予する制度があります。平成30年度には、在学生の15.3%が免除を受けています。

学生企画活動支援事業

本学学生自らが企画する事業の内、優れたものに対して、大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験をさせることで、学生の企画力・実践力・社会性を高め、より優れた教員として、また、社会人として成長することを目的としています。

平成31年度採択事業

事業名	開催日・期間	内容	対象	場所
作ってハッピー☆造形ひろば	令和元年11月2日	造形活動の楽しさを知ることができるよう音段ではできない活動ができる環境を提供する	地域の児童・生徒とその保護者	本学
理科実験教室in奈良教育大学～見て、作って楽しもう～	8月	小学生を対象に理科実験教室を開講する。実験は色を題材としたものを中心として様々な化学反応を扱う。	地域の児童・生徒	本学
学校教育とジェンダー・セクシュアリティを考える	通年	「学校教育とジェンダー」をテーマに、全ての教科に関する事例として、該当する内容を実践・研究されている方を招いて講演会を行う。	本学学生	本学
楽器ふれあいコンサート～音楽に親しもう～	通年	地域の幼稚園・保育園や福祉施設へ行き、各施設にあった楽器を選び演奏する。	地域の方、幼児等	奈良県内の幼稚園・保育園及び福祉施設等
KYOU-YOUプロジェクト	通年	奈良・和歌山について学び、地域と連携を深め、地域に貢献する。また、地域に貢献する。また、地域に貢献する。	本学学生と飛鳥地区の学校や幼稚園の教員・生徒、地域の方	本学、飛鳥中学校
秋のおでかけ 障害のある子どもに実感を～互いに学びあおう～	令和元年10月26日	障害のある子どもとその保護者と学生がバスに乗り、一日おでかけし、交流した時間をともに過ごす。	障害のある子どもとその保護者	信貴山のど村
手話(聴覚障害者の言語)を学ぶ	通年	聴覚障害者を講師に招き、手話を学び、聴覚障害者の生活を知る。手話をしめとするとコミュニケーションの多様性や障害理解の普及に努める。	本学学生	本学
学生オペラ2020「オランダ世襲へんいん」あなたもいつかひびく?	令和2年3月8日	学生オペラ「エンゲルベルト・フンパーディー」作曲「ヘンデルとグレート」	一般の方、本学学生	本学講堂
ESD実践勉強会～古都奈良からみらいへ～	通年	本学学生へのESD及びSDGsのさらなる普及、本学学生の防災意識の向上を目的として、防災に関する事項及びESDに関する基礎知識を実践的に学ぶ勉強会を実施する。	本学学生	本学、奈良市青少年野外活動センター

https://www.nara-edu.ac.jp/campus_life/extracurricular/planning.html

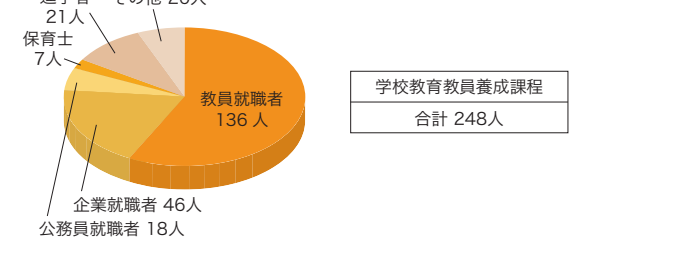
就職支援・進路

就職支援室を設置し、様々な対策講座や模擬面接、模擬授業、実技試験の練習場所開放などを行っています。また、教員採用試験受験者向けと企業就職者向けにそれぞれ就職相談員を配置しています。

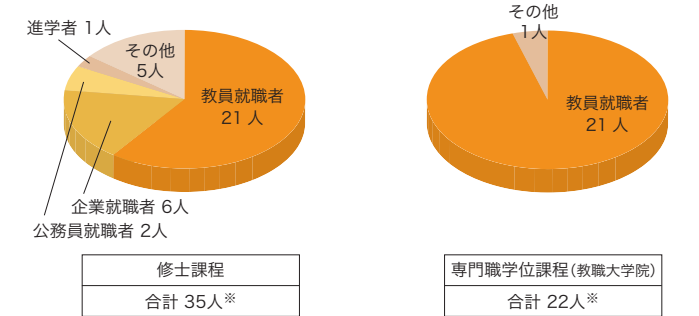
卒業生の進路先(令和元年5月1日現在)

平成31年3月卒業生

教育学部



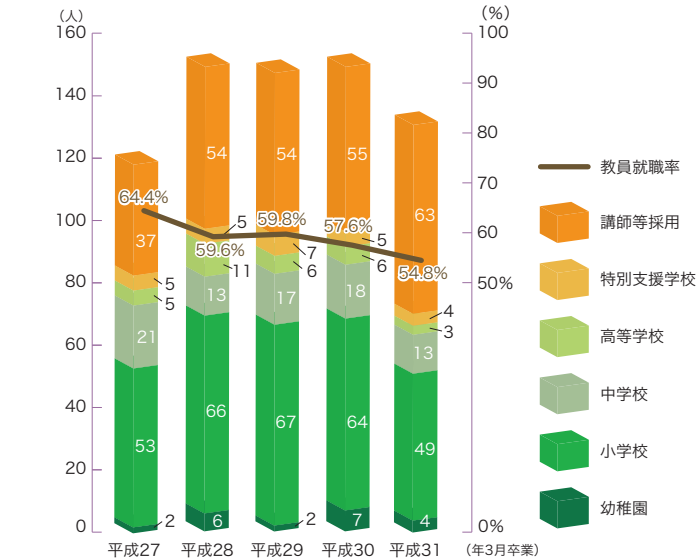
大学院



※大学院は留学生、現職含む

過去5年間の教員就職者の推移

学校教育教員養成課程卒業生の教員就職者の推移



教育研究支援機構

図書館

教育・研究のため、図書・雑誌を揃え、学生及び教職員のほか、地域の方へも貸出しています。また、文献検索及び文献所在調査等により、調査・研究の援助を行っています。教員志望の学生が実践的教育力や指導・課題探求の向上を図るため、多様な学修活動に対応した「学修空間」として「ラーニング・commons」や「グループ学習室」、「えほんのひろば」を設置しています。

蔵書数

区分	和書(冊)	洋書(冊)	計(冊)	和書(種)	洋書(種)	計(種)
蔵書数	293,147	47,341	340,488	5,009	900	5,909
平成30年度受入数	3,197	243	3,440	550	23	573

教育資料館

我が国の学制発足以降における奈良県下の初等中等教育に関する資料を中心として、教育関係資料の収集及び展示が行われています。また、常設展(新薬師寺旧境内展)、教職員及び学生による特別展や企画展も開催しています。

次世代教員養成センター

教員養成の高度化と質保証を目的とする京阪奈三教育大学連携推進事業の一環で設置された「連携拠点」の一つとして、平成25年7月1日に設置されました。ICT活用を含む実践的教育力・指導力の向上、課題探究力の向上を図るとともに、学び続ける教員の質保証に関わる事業及び研究開発を行うことにより、21世紀社会を牽引する人材である次世代の教育を担う教員の養成に寄与することを目的としています。センターは、「情報教育部門」「ESD・課題探究教育部門」「情報基盤部門」の3部門で構成されています。

国際交流留学センター

文化多様性教育に関わる実践的、理論的研究を学際的に、国際的視野を備えた教員の養成に寄与するとともに、国際交流協定大学などとの交流・連携に関わることで、派遣・受入留学生を支援し教員養成大学としての国際交流を推進することを目的としています。

自然環境教育センター

学生・児童・生徒および地域住民を対象とした講義・実習・公開講座の実施に加え、教育方法や教材の開発およびその他の研究活動を通じ、自然教育や自然環境教育を担う人材の育成を行っています。

特別支援教育研究センター

特別支援教育に関わる理論と実践に関する教育研究を総合的に、特別支援教育を担う人材の育成、地域における児童生徒等の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進しています。センターには、児童精神科医、臨床心理士、作業療法士などを配属しています。

理数教育研究センター

現代的教育課題である「理数離れ」に対応し、21世紀の新世代の人材育成に必要な新しい理数教育システムの構築に地域や現場と一体となって取り組んでいます。本センターは、教材・カリキュラム開発や地域連携等の事業を推進する「教育プログラム推進部門」、オープン・サイエンス・ラボ、アドバンスト・サイエンス・ラボの運営や先端的研究機関との連携等を行う「先端科学教育部門」等からなり、理数教育プログラムの開発、SST(スーパーサイエンスティーチャー)養成、公教育の支援のほか、理工学系部門との連携や国際協力等の事業を展開しています。

保健センター

健康増進のための指導・助言を行うとともに、性格、家庭、対人関係等広く相談に応じるため、専門のカウンセラーを配属しています。

入試情報

令和2年度入試日程(令和2年4月入学者)

入試区分	出願期間	試験日
教育学部	アドミッション・オフィス入試	10月1日(火)～10月7日(月)
	一般入試	前期日程 1月27日(月)～2月5日(水) 後期日程 2月25日(火)～3月12日(木)
大学院教育学研究科	修士課程	9月募集 8月1日(木)～8月7日(水) 2月募集 11月29日(金)～12月5日(木)
		9月7日(土)
	専門職学位課程	9月募集 8月1日(木)～8月7日(水) 11月募集 10月18日(金)～10月24日(木) 2月募集 11月29日(金)～12月5日(木)
		9月8日(日)
		11月9日(土)
		11月10日(日)

- アドミッション・オフィス入試とは、公募による自己推薦に基づく特別入試です。
- 教育学部一般入試は、インターネットによる出願となります。
- 詳しくは各募集要項をご覧ください。

入試情報に関するお問合せ先	奈良教育大学 入試課 TEL 0742-27-9126 nyuusi@nara-edu.ac.jp
---------------	--

お問い合わせ先

- ☐ 入試に関すること(入試課) 0742-27-9126
- ☐ 学生の求人に関すること(学生支援課就職担当) 0742-27-9129
- ☐ 公開講座に関すること(企画連携課地域連携担当) 0742-27-9108
- ☐ 施設利用(外部貸付)に関すること(財務課総務・決算担当) 0742-27-9112
- ☐ 研究協力・産学連携、寄付金に関すること(教育研究支援課學術・研究担当) 0742-27-9135
- ☐ 図書館の利用に関すること(図書館) 0742-27-9137
- ☐ ホームページ、広報誌、その他お問い合わせ全般(総務課総務・広報担当) 0742-27-9104

